

提出日 2023 年 9 月 26 日

海外留学成果報告書

【参加者A】

所属	経済	学部	経済経営	学科	4	年
プログラム名	夏期英語研修(グループ型)					
受講期間	西暦 2023 年 8 月 12 日 ~ 2023 年 9 月 10 日 (約4週間)					
留学先 (国・地域)	オーストラリア	留学先大学名	ウーロンゴン大学			

1. 留学した理由、目的・目標	私が留学を決意した一番の理由はホームステイを経験したかったからです。挑戦したいもののホームステイ先のトラブルをネットで見て躊躇っていました。しかし学校からの紹介であれば安心できると思い留学を決意しました。また私は去年フィリピンに短期留学をしていました。そこで学んだ英語を活かしつつ別の国での英語も学んでみたいという目的もあり今回留学することを決意しました。学校で学んだ英語を積極的にアウトプットできる環境を作ることを目標としていました。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	現地での生活は意外と快適なものでした。慣れない環境ではあったので日本に勝るものではありませんが、フィリピン留学を経験していることもあり衛生面や環境面などとても整備されていて不便なことはありませんでした。唯一不便だと思ったことは店の閉店時間や最終バスの時間が早すぎることで、カフェなどは2時で閉まるので驚きました。授業は午前中まででしたが、異なる国の留学生たちと話す機会が多く、非常に有意義な時間でした。また校外の様々な場所へ連れて行ってくれたので現地の方とも話すことができました。
3. 留学の成果 (・目標の達成度 ・新しく発見したこと ・新しく感じたこと など	去年の留学はインプットが多かったので今回の留学はアウトプットすることを目標としていました。達成度としては55%くらいだと感じています。同じクラスの中国人の子と仲良くなってたくさん話したり、日本語を勉強する海外の人が集まるイベントに毎週参加していました。そこでの繋がりがから一緒にご飯を食べたり、休み時間を共に過ごすことはありましたが、休日に遊びに行くことができませんでした。時間が合わず、日本人の学生と過ごす時間が多かったので目標の達成度が低く感じています。もっと多くの時間を一緒に過ごすことができればより英語力の向上に繋がったのではないかと少し後悔しています。新しく感じたこととして現地の方々は積極性が非常に高いと身をもって感じました。日本語を学ぶ海外の人たちは日本語を勉強し始めて間もないのに上手に話す人が多くいました。それは私自身が経験したことでありますが、積極的にメッセージのやり取りをしたり、会う約束をしたりしているからだと思います。やはり話す機会を自分から増やさないといつまで経っても話せるようにならないと改めて感じました。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	今回の留学経験からどのように英語を勉強していくのが明確になりました。アウトプットの機会を作ることがなによりも大切だと思ったので、オーストラリアでできた友達と今後もメッセージや電話でやり取りを続け英語で話すことに慣れたいと思いました。以前はただ漠然と英語が話せるようになりたいと思っていたのですが、友達ともっと仲良くなりた、距離を縮めるために流暢に英語を話せるようにならなければいけないという明確な目標ができました。
5. 自由記述	プログラムに参加する直前まで参加するか悩んでいたのですが、参加してよかったと心から思っています。オーストラリア留学は私の夢だったので今回実現できて非常に嬉しく思います。住むなら日本かあり得ないと思っていましたが、オーストラリアなら移住してもいいなと感じたので私自身の視野が大きく広がりました。やはり留学は非常に多くのことを学べるのでこれからも挑戦したいです。

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2023 年 9 月 26 日

海外留学成果報告書

【参加者B】

所属	経済	学部	経済経営	学科	3	年
プログラム名	夏期英語研修(グループ型)					
受講期間	西暦 2023 年 8 月 12 日 ~ 2023 年 9 月 10 日 (約4週間)					
留学先 (国・地域)	オーストラリア	留学先大学名	ウーロンゴン大学			

1. 留学した理由、目的・目標	語学カアップと、学生のうちに1回は海外に留学したかったからです。英語を聞き取れるようになって、自分の言いたいことを英語で言語化できるようになりたいと思いました。海外に行ったことがなかったで自分の目で、体で海外の空気を感じてみたいとも思いました。オーストラリアはホームステイなので、現地の人の暮らしを身をもって体験することができるので関心を持ちましたし、日常的に使われているフランクな英語も知ることができる機会だと思いました。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	ウーロンゴンでの授業は、最初の一週間は神戸国際大学の人たちと一緒に授業をして次の週からはクラス替えて分かれました。私のクラスはいろいろな国の人たちがいたので、国際交流することができました。国によって発音が違ったり訛ったりして聞き取りづらいこともありましたが、みんな優しくフレンドリーでとても楽しかったです。生活面は、オーストラリアの人たちは結構オープンな人が多く、ホームステイ先もすごく暮らしやすかったです。個々を大事にしている印象があり、とても良いと思いました。
3. 留学の成果 (・目標の達成度 ・新しく発見したこと ・新しく感じたこと など	留学の成果は、始めの方は少し聞き取れなかったけど、最後の方は始めに比べたら聞き取れるようになっていました。一番大きな変化は、英語に対して恐怖心などがなくなったことです。オーストラリアの雰囲気もあると思いますが日本にいるときよりもチャレンジしてみようという気になりました。オーストラリアの人たちは本当に優しく、すぐに困っているときに手を差し伸べてくれました。私が駅で切符の買い方がわからなくて困っていたときに、駅員さんの方から話しかけてくれて最後まで教えてくれて、本当にすごく助かりました。感じたことは、時間にあまり厳しくなく、のんびり生きていてストレスフリーな印象でした。ホリデーのときは別荘でゆっくりしたり、海外の色んなところに行ったり、休むときは休み、仕事のときは仕事と、メリハリつけていて良いなと思いました。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	新しいことにチャレンジしてみる勇氣や、自分から話しかけたり行動したりする積極性を培うことができたのでこれからの生活は色んなことに積極的に生きていきたいです。まず身近なことだと就活などに役立てていきたいです。せっかく英語も学んだのでもっとスキルを上げて、仕事にでも使えるようになりたいと思います。オーストラリアの気に入ったところは取り入れ、今の日本の文化の良いところはそのままたくさん取り入れて色んな視点から物事を見ていきたいと思っています。
5. 自由記述	ワーキングホリデーにも興味をもったので本当にしっかり英語の勉強がしたいなと思いました。この四週間はすごく良い経験になりました。

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2023 年 9 月 22 日

海外留学成果報告書

【参加者C】

所属	経済	学部	経済経営	学科	3	年
プログラム名	夏期英語研修(グループ型)					
受講期間	西暦 2023 年 8 月 12 日 ~ 2023 年 9 月 10 日 (約4週間)					
留学先 (国・地域)	オーストラリア	留学先大学名	ウーロンゴン大学			

1. 留学した理由、目的・目標	留学した理由はいくつかあります。もともと海外に興味があり英語のスキルを上げて海外の友達を作りたいと思ったからということ、自分の可能性を知りたく世界でどれだけ通用するのか、そしてどんな人たちがいて、日本とどう違うのか実際にこの目で見て感じたかったからということ、また街並みや食事、ライフスタイルが全く異なる海外生活を通して視野を広げ、現地の文化を肌で感じることににより新しい価値観を得たいと思ったからです。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	月曜日から金曜日まで朝8時半から12時半まで授業でありました。授業内容は常に英語で楽しくリラックスした状態で授業が行われていました。ボタニックガーデンや動物園、地元の高校、他にも観光スポットにも訪れました。2週目から個人の能力に合わせたクラスに分かれて授業があり、そこでは他校の生徒もいました。土日はホームステイ先によって異なるが、基本フリー時間で多くの人が現地の友達や他校の友達と休日を過ごしていました。放課後は基本自由時間で海外の人たちと交流できる場所があり、そこに参加して実際に現地の人と英語で会話できたり、日本語を学んでる海外の人たちと会話ができたりしました。
3. 留学の成果 (・目標の達成度 ・新しく発見したこと ・新しく感じたこと など	今回初めての海外が留学で自分なりに目標掲げて行き、最初は不安や緊張がありましたが、現地の人や周りの友達が優しくわからないことも教えてもらえることが増えました。留学に行く前より英語力はもちろんの事、自分自身の可能性や新しい価値観、考え方、物事に対する捉え方など様々な事を学ばせてもらい一人の人間として成長できたように感じます。オーストラリアで感じた事は日本にない自由な雰囲気と、自分が思っているほど見た目のこと気にしないことや、どんな考えも受け入れる人が多く、他人に対して親切でそのようなオーストラリアの人の人間性がすごくよいと感じました。そして、日本を好きな人が多く、食べものやアニメなど知ってくれてる人たちが話しかけてくれる事もあり、積極的に明るい性格の人ばかりですごく好きになりました。もっとオーストラリアの事を知りたいと思い、帰るころにはもう少し滞在したいなと思いました。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	今回の留学を踏まえて来年は長期の留学をしてもう一度語学を伸ばすとともに自分自身成長できるようにいろんなことに挑戦できたらなと思っています。将来はせつかく海外に行き、学んだ事があるので国際関係系の仕事に就けたらいいなとおもっている。日頃から海外で学んだ事を生かしながら生活して人の役に立てたらいいと思っており、この事をこれから海外にいく人や勉強する流人の手助けになればいいと思っています。これからももちろん語学勉強をしながら、もっと高い目標を目指して日々成長していきたいです。
5. 自由記述	

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2023 年 9 月 20 日

海外留学成果報告書

【参加者D】

所属	経済	学部	経済経営	学科	3	年
プログラム名	夏期英語研修(グループ型)					
受講期間	西暦 2023 年 8 月 12 日 ~ 2023 年 9 月 10 日 (約4週間)					
留学先 (国・地域)	オーストラリア	留学先大学名	ウーロンゴン大学			

1. 留学した理由、目的・目標	私自身英語が苦手なので、英語力を上げることはもちろん、文化の違いや環境の違い人との付き合い方の違いなど、日本には無い物を知りたかったということ、国を超えて友好関係を築き、言葉が通じない中でもサッカーやビーチバレーなど一緒に楽しんでみたいということ、日本のことを海外の人にも伝えて知ってもらいたいということ、また私自身もオーストラリアの文化を知り、日本の友達や家族に魅力を伝えたいと思い渡航しました。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	授業では、学力別でクラスに分かれコミュニケーションを取り合うことをメインに学びました。先生はもちろん、中国人の学生たちと先生が出した議題を話し合ったり、ゲームをしたりして仲を深めました。また、毎週水曜日と木曜日に授業後自由にバドミントンや、バレーボールを無料で貸し出ししてもらえる日があり、そこで他クラスの子や違う国の子たちと遊びました。休日にはシドニーに行ったり、ビーチバレーを現地の人たちとしたりして遊びました。
3. 留学の成果 (・目標の達成度 ・新しく発見したこと ・新しく感じたこと など)	1ヶ月間生活してみて、私の英語力は0からのスタートだったということもあり、ホストファミリーが何を言っているのか少しだけわかるようになったことは成長だと感じています。新しく感じた事としては、あいさつが当たり前でハグをしまったりすることが新鮮で、とても素敵だと感じました。私も日本に帰る頃にはハグが大好きになっていました。あと、バスに乗っている時に次のバス停の名前が出なくてずっとGoogleマップを見ないといけなかったことも、私にとって新鮮で、毎日ドキドキしながらバスに乗っていました。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	国が違う者同士、言葉が通じない者同士でも意思疎通ができ話すことができたので、知らない人にも積極的に話せるようになったことはいい経験だと感じています。そして、1ヶ月の期間だったけれど、環境にすぐ慣れることができたことはすごく強みだと感じるので、どこの場に行ってもその強みは活かしていけるのではないかと感じています。また、日本に来た外国人の方々が困ってる時などは助けるなど、この留学で身につけた英語力を活かしていきたいと思っています。
5. 自由記述	今回オーストラリアに行けて、ここまで楽しいと思えるとは最初は思っていなかったです。また是非オーストラリアに行きたいです。

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2023 年 9 月 26 日

海外留学成果報告書

【参加者E】

所属	経済	学部	国際文化ビジネス・観光	学科	3	年
プログラム名	夏期英語研修(グループ型)					
受講期間	西暦 2023 年 8 月 12 日 ~ 2023 年 9 月 10 日 (約4週間)					
留学先 (国・地域)	オーストラリア	留学先大学名	ウーロンゴン大学			

1. 留学した理由、目的・目標	私が留学した目的は、何か新しいことにチャレンジしてみたいと思ったことがきっかけです。私は昔から英語に対して苦手意識を持っていました。しかし私が目標としている職業には英語が必要なため、実際に英語を話す環境に行ってみようかと決めました。またもうひとつの理由としてホームステイを経験してみたかったということです。普段とは異なる文化や習慣の方と生活することで自分の視野を広げるとともにコミュニケーション能力を身につけたいと考えていました。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	授業では、英語を通じて他国の留学生と交流する時間が多く設けられました。それに加え、課外授業として動物園や植物園に行き、思い出に残る経験もできました。授業の中で私が特に印象に残っているのはオーストラリアの先住民であるアボリジニの文化について学んだことです。アボリジニの国歌を先生と歌ったことが印象に残っています。生活面では、授業が8時半から始まりお昼に終わるのため規則正しい生活が定着し、1日を充実して過ごすことができました。
3. 留学の成果 (<ul style="list-style-type: none">・目標の達成度・新しく発見したこと・新しく感じたこと など)	自分が目標としていたレベルの英語力は達成できませんでした。しかし、簡単な英語でも積極的に先生へ質問したり、道を尋ねたりしたことでコミュニケーション能力を高めることができました。新しく発見したことは、移動手段としてバスを利用することが多かったことです。また、オーストラリアは一年を通して乾燥した気候が続くため節水を呼びかけられていることを知りました。そのため水が高く、外で購入した際500円という値段にはとても驚きました。そして、1番強く感じたことは現地の方がとても親切だということです。1度バスの中で地図を確認しているとき、現地の方が近くに来て私が降りるまで一緒にいてくれてとても安心しました。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	今回、英語を通じて多くの他国の方と交流し、様々な異文化に触れることができました。神戸国際大学も留学生が多いため、これをきっかけに積極的に交流の幅を広げたいと感じています。そして、私がこの留学生活で1番成長したのは行動力だと思います。この先の就職活動や社会人になってからでも、目標に向かい自発的に行動することが必要になるため、この行動力を活かしていきたいです。
5. 自由記述	

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2023 年 9 月 27 日

海外留学成果報告書

【参加者F】

所属	経済	学部	国際文化ビジネス・観光	学科	3	年
プログラム名	夏期英語研修(グループ型)					
受講期間	西暦 2023 年 8 月 12 日 ~ 2023 年 9 月 10 日 (約4週間)					
留学先 (国・地域)	オーストラリア	留学先大学名	ウーロンゴン大学			

1. 留学した理由、目的・目標	この大学に入った目的が留学をする目的でしたが、コロナ禍だったのでなかなか行けず、3回生になりやっと行くことが出来ました。目的と目標は英語を学ぶことと海外の世界を見ることです。実際に学校で英語を勉強することができ、ホームステイでホストファミリーと一緒に過ごして行くことで海外の生活を味わうことができました。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	現地では、平日では学校に行き、放課後はスポーツをしたり学食を食べたりなど海外での学校生活を味わうことができました。休日はシドニーに行き色々な観光地を巡ることができて、楽しい思い出を作ることができました。オペラハウスを見に行ったり、ルナパークに行ったり、シドニー大学にいたりといい思い出ばかりです。
3. 留学の成果 (<ul style="list-style-type: none">・目標の達成度・新しく発見したこと・新しく感じたこと など)	新しく発見したことはオーストラリアは色々な鳥がいると思いました。日本ではなかなか野生で見ることができない、オウムやカラフルな鳥やいろんな種類の鳥が沢山いました。目標の達成度は自分の目標は英語を学ぶことだったので、行く前と比べてたくさん単語を学ぶことができました。また、クラスには他の大学の人たちもいて、英語のレベルが高い人も沢山いたので、いい刺激を受けることができました。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	この留学の経験を活かして、まだ考え中ですが、長期の留学へ行きたいという気持ちを持つようになりました。また、海外のことをもっと知りたいなと思いました。そして、海外は日本と比べて給料がとても高いので海外で働くということもいいのではないかと感じました。
5. 自由記述	

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2023 年 9 月 26 日

海外留学成果報告書

【参加者G】

所属	経済	学部	国際文化ビジネス・観光	学科	3	年
プログラム名	夏期英語研修(グループ型)					
受講期間	西暦 2023 年 8 月 12 日 ~ 2023 年 9 月 10 日 (約4週間)					
留学先 (国・地域)	オーストラリア	留学先大学名	ウーロンゴン大学			

1. 留学した理由、目的・目標	私は一度も海外に行ったことがなかったため他の国の文化や習慣などを肌で感じたいと思ったから留学をしました。また、将来は英語を使った職業に就きたいと考えているため英語力をつけるという目標をもって留学をしました。全く違う国に行きたいと多くの理由です。また、自分ではどのくらい英語が通用するのか、試してみたいと思い留学を決めました。留学してみて自分の英語力はまだまだと感じたのでネイティブのような発音をめざして頑張りたいです。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	授業はずっと英語でとても難しいと感じましたが、内容はゲームなどがほとんどで楽しく英語を学ぶことができました。色々な国からの留学生もいて様々な国の人とコミュニケーションをとり交流を深めて行くことができました。学校では交流会など様々なイベントがあり積極的に異文化交流ができました。生活面ではホームステイだったので現地の文化をより深く感じることができました。オーストラリアでの家庭料理を食べたり、家族と交流したり、オーストラリアならではの場所に連れて行ってもらったりと様々な新しい体験をすることができました。
3. 留学の成果 (目標の達成度、新しく発見したこと、新しく感じたこと など)	目標は、少し達成することができました。異文化に触れ、様々な新しい体験をすることができました。英語力は、最初は何を言っているのかが全く聞き取れずとても戸惑いました。しかし、ホストマザーと会話をしていくにつれ、だんだんと会話の内容が理解できていくのが分かり、とても嬉しくなりました。しかし、もっと自分が理解できていたらあの単語が分かればと何度も悔しい思いをしました。もっと英語を練習してスムーズに会話をできるようにしたいです。新しく感じたことはオーストラリアの人々はとても親切だということです。みんながフレンドリーで人への愛がとても伝わりとても素敵な国だと感じ、私たちがそこは見習ったほうがよいと思いました。海外ではみんな自分に自信を持って生きているように見えました。人の目を気にせずに堂々と生きているという雰囲気がとても良いと思いました。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	今回の留学で英語力がまだまだと感じたのでもっと英語を勉強したいと思います。今回の留学でもっと他の国に行きたいと感じたので様々な国に積極的に行き、たくさんの人々とコミュニケーションをとり文化を感じたいです。今回の留学で異文化理解をしっかりと学べたので、日本にいる外国人の人に積極的に自分から声をかけたり、オーストラリアの人々がしてくれたように困っていたら助けてあげたいと思いました。今回学んだ英語を忘れずにこれからもたくさん英語を使っていきたいです。
5. 自由記述	オーストラリアの人々は本当にいい人ばかりでとても驚きました。また、日本と比べてとても自由な国だと思いました。

提出日 2023 年 9 月 26 日

海外留学成果報告書

【参加者H】

所属	経済	学部	国際文化ビジネス・観光	学科	3	年
プログラム名	夏期英語研修(グループ型)					
受講期間	西暦 2023 年 8 月 12 日 ~ 2023 年 9 月 10 日 (約4週間)					
留学先 (国・地域)	オーストラリア	留学先大学名	ウーロンゴン大学			

1. 留学した理由、目的・目標	英語力を今まで以上に身につけ、外国人とのコミュニケーション、海外の環境を知り、将来の就職活動に活かすことを目的として参加しました。また、ネイティブな海外の実際のスピーキング、リスニングも身につけたいという目標を持って参加しました。外国人の友達を作って、英語を深く学び、ネイティブのように発音できるようになりたいと思いました。発音することがとても苦手だったので、この留学でうまく発音の仕方を身につけられるようになりたいと思いました。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	ウーロンゴン大学では、先生とのグループ活動、外でのスポーツ活動、海や川、ビーチなどの遠足の活動などがありました。また、授業外の課外活動で、外国人の生徒とコミュニケーションをとれる交流会がありました。また、遠足ではオーストラリアの高校に行き、日本語を学んでいる生徒との交流会に参加しました。週末には、シドニーや観光地に行き、オーストラリアの環境をたくさん知りました。また、ホストファミリーと親戚の家に行って交流したり、一緒にご飯を食べたりする機会もありました。
3. 留学の成果 (・目標の達成度 ・新しく発見したこと ・新しく感じたこと など	今回の留学で、英語の発音や、リスニングのスキルが高く身についたと思います。今まで、英語はあまり得意な方ではなく、難しい印象でしたが、実際に海外の人と関わることで、ネイティブの発音の仕方や、喋り方を覚えました。日本人の喋る英語は、わかりやすく聞き取れますが、外国人の喋る英語はとても早く、聞き取りづらいという難点がありました。この留学で、ネイティブな発音の仕方を理解し、ホストファミリーともたくさんコミュニケーションをとったことで、自分の発音力にとっても自信を持つことができました。 オーストラリアは、とても自然が綺麗で、ビーチ、海などの景色はとても美しい印象が、1番心に残っています。遠足で行ったキアマビーチは、今まで見た海の中で1番綺麗だったので、またオーストラリアを訪れたいと思いました。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	この留学で、私は、将来なりたい職業に活かしたいと思いました。エアライン関係の仕事につきたいと考えていたので、今回の留学で、英語力を身につけ、就職活動に活かしたいと考えました。エアライン関係のお仕事は、TOEICなどの資格がとても重要視されると知ったので、まずは、そのTOEICなどのテストの点数を上げたいと思いました。また、海外の人とすばやく喋れるように、日常会話の英語をこの留学でとても身についたと思うので、外国人の友達と仲良くなるために、活かしたいと考えました。
5. 自由記述	海外留学は初めてで、海外に行くことも初めてでしたが、とても人生で濃い思い出になりました。また、ホストファミリーとの関係も、深く関わることができたので、楽しかったです。また、機会があれば留学を経験したいと思いました。

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2023 年 9 月 20 日

海外留学成果報告書

【参加者1】

所属	経済	学部	国際文化ビジネス・観光	学科	3	年
プログラム名	夏期英語研修(グループ型)					
受講期間	西暦 2023 年 8 月 12 日 ~ 2023 年 9 月 10 日 (約4週間)					
留学先 (国・地域)	オーストラリア	留学先大学名	ウーロンゴン大学			

1. 留学した理由、目的・目標	小学生の頃から海外旅行を何度か経験していて、将来どこかで留学したいと考えるようになり大学で海外に行こうと決め今回の夏期英語研修(グループ型)に参加させていただきました。将来は英語力をつけ世界中の人達とコミュニケーションを取ることが目標です。目的は日本だけではなく世界中の文化に触れて人生の時間を有意義に使いたいと考えているからです。将来家族ができたときなどに僕が喋れることで沢山の経験を家族にさせてあげることもすごくいいなと感じ英語をもっと勉強したいと思いました。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	色々な国の人達と同じ授業を受けて英語だけではなく中国語やタイ語など沢山の言語を交流の中で学ぶことができました。週に2回ある学校内での交流会に毎週参加し沢山の英語に自分から触れに行くことを目的として足を運びました。留学生たちとのオーストラリアの動物園では、日本では体験できないような動物との触れ合いがあり、僕の心を豊かにしてくれました。
3. 留学の成果 (・目標の達成度 ・新しく発見したこと ・新しく感じたこと など	私は昔から英語が得意な方でも好きな方でもなかったのですが今回英語を学びたいと言う気持ちで参加し英語をマスターする気持ちではなく沢山の人とコミュニケーションを取る目的と、耳を英語にならす目標で参加しました。分かっていたのですが海外の方々は口だけではなくジェスチャーなどを交えて話してくれるので何を伝えたいかなどがとてとすぐ理解できて話すだけで楽しかったです。新しく感じたことは日本は上下関係などがはっきりしていますが海外は敬語ではなくみんなが対等で話していると感じました。海外のそのようなところが私はとても好きで誰でも同じように意見を言えることがとてもいいなと感じました。私はこの研修でますます海外に魅力を感じました。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	今回のこの研修は私の中でとても心の成長ができました。価値観や人生の計画図なのがとても変化し今回自分から行動してこの研修に行ったことはとても成長として考えています。将来の自分を考えた時にあの時行っておけばよかったなどの考えを一つでもなくするためにどんどん行動していこうと思います。今自分で行動したことはいつか自分に返ってくると思うますし、過去の自分が今の自分なので沢山の経験を積み沢山の人と出会って生きていきたいと改めて感じました。
5. 自由記述	

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2023 年 9 月 26 日

海外留学成果報告書

【参加者J】

所属	経済	学部	国際文化ビジネス・観光	学科	3	年
プログラム名	夏期英語研修(グループ型)					
受講期間	西暦 2023 年 8 月 12 日 ~ 2023 年 9 月 10 日 (約4週間)					
留学先 (国・地域)	オーストラリア	留学先大学名	ウーロンゴン大学			

1. 留学した理由、目的・目標	私が今回留学に行くことにした理由は、就職活動の時に留学に行っただと自分の強みになるのではないかと考えたことです。期間は1ヶ月と短いですが、行ったことで自分の中にあった価値観などは大きく変わったと言えます。そして、この留学での目的は、まずは自分の英語力がどれくらいのものかを確認すること、海外と日本の違いを感じることでした。また目標は、英語力の向上と自分のコミュニケーション力の向上でした。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	現地での授業では、オーストラリアについて英語で勉強しました。オーストラリア訛りの英語や、有名な食べ物、動物などを学ぶことができました。また、校外学習では近くの川に行ったり、ビーチに行ったり、動物園にも行きました。日本ではみることのできない動物を見たり、カンガルーと触れ合うことができましたりしてとてもいい経験でした。また普段の生活面では、オーストラリアの人々はとても親切でフレンドリーなので快く挨拶をしてくれたり、お金の計算に戸惑っていると教えてくれたり、オオスメの場所やさまざまなことに気軽に答えてくれてとてもコミュニケーションを取ることが楽しかったです。また、お店の働き方もよく、とても労働環境がいいんだと感じました。
3. 留学の成果 (目標の達成度、新しく発見したこと、新しく感じたこと など)	今回の留学での自分の中での達成度はかなり高かったです。自分から積極的に話しかけることや、一般の方ともコミュニケーションを取ることができて、自分の英語力をしっかり試すことができてとてもいい経験でした。今回の留学で新しく発見したことは、労働環境の良さでした。オーストラリアのお店は基本的には夕方には閉まっており、大きなショッピングモールでも17時までには閉店します。なので、働く側からするとものすごく働きやすい環境なのではないかと思いました。また、多国籍の方が多いことも歩いていて感じました。そのため、異文化理解がオーストラリアでは進んでいるのではと思いました。また、新しく感じたことはやはり日本の環境はいいことです。公共施設のトイレが綺麗なことや、スーパーでの商品が丁寧に扱われていることやまた電車などの交通機関の素晴らしさに改めて感じることができました。電車は1時間に一本しか来ないし、バスは手をあげないと乗せてくれないし、降りるところはマップを見ながらでないと乗り過ごしてしまうなどでトラブルばかりでした。それに比べて日本はとても親切であると感じました。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	今回の留学を踏まえて、これから海外の人が日本に来てくれた時は自分が優しくできるようになりたいと思いました。でも、その前に英語を今以上に勉強しようとも同時に思いました。日本のいいところを精一杯提供できるような仕事に就いて活躍したいと心に強く思いました。自分が今回留学に行くととても楽しかったと思えたのは一緒に行ったメンバーがいてくれたからとオーストラリアの人々に優しくしてもらったことです。ホストマザーや同じ大学に通うオーストラリアの人に親切にもらったことが大きかったです。なので私もまだ日本のことを勉強して英語も勉強して、たくさんの人に日本をもっと詳しく知りたいと思ってもらえるように頑張りたいと思いました。
5. 自由記述	今回一緒に留学に行ってくれたメンバーとそれまでたくさん支えてくれた人々、一緒に行ってくれた先生に感謝をたくさん申し上げます。ほんとにありがとうございました。1人ではできなかったことや、わからないことをみんなに支えてもらい無事に1ヶ月を過ごすことができました。ほんとに私の人生の中で一番濃い1ヶ月を作ることができました。ほんとにありがとうございました。これから留学を考えている人は絶対に留学に行ってください！今しか経験できないことをしに行くことはものすごく難しいけど、はじめの一步を踏み出すと意外と他のことは簡単に最初だけ勇気を持って行動してほしいと思いました。ほんとうにほんとうに感謝しかないです！ありがとうございました！！

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2023 年 9 月 20 日

海外留学成果報告書

【参加者K】

所属	経済	学部	経済経営	学科	2	年
プログラム名	夏期英語研修(グループ型)					
受講期間	西暦 2023 年 8 月 12 日 ~ 2023 年 9 月 10 日 (約4週間)					
留学先 (国・地域)	オーストラリア	留学先大学名	ウーロンゴン大学			

1. 留学した理由、目的・目標	海外という異国の地で自分の英語の能力を伸ばす事と海外の事(文化・食事・習慣)を知ることを主な目的としていきました。第2の目的もあり、それは自分の夢に1歩でも近づけるかなと思いました。そして、必ずどちらの目的を取ったとしても自分の人生において大事な分岐点になると思いこの夏に行くことを決断しました。具体的な目標は単語や会話の文をひとつでも多く覚えて実践的に使えるようになり、日本に帰りたと思っていました。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	大学では他の大学の方や様々な国の方とたくさん出会い、英語でコミュニケーションを積極的にたくさん取る事ができました。授業でもたくさん英語で話すことを心がけ、分からない単語があれば調べるという力を身につけました。そして、何よりオーストラリアの事を英語で教えてもらいたくさんオーストラリアの事を知ることができました。動物やフルーツなども詳しく教えてもらいました。他にも遠足やスポーツフェスティバルのようなものもあり楽しい留学になったと思います。
3. 留学の成果 (・目標の達成度 ・新しく発見したこと ・新しく感じたこと など	オーストラリアに、行って感じた事は人の優しさと日本とは違いルールがあまり厳しくなく自由だというイメージです。そして、目標は日を重ねていくに連れて達成出来たのかなと思います。自分自身でも昨日より成長できてステップアップできているという実感がオーストラリアに行った次の日から感じていました。そして、食事ではお米はタイ米を使っていたイメージが強くパスタやラザニアやカレーなどが出てきました。街並みについては自分がホームステイさせてもらっていたところは大学から離れたところがありました。すごく山の中の家でした。しかし、坂を登ると海がとても綺麗に見え自然豊かなところで1ヶ月過ごしました。全てにおいて新しい良い経験ができました。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	オーストラリアという所に行き、色んなことが新鮮で経験もたくさんでき、自分にとってとてもプラスになった留学になりました。この留学でももちろん語学を学びましたが、それ以外の事も沢山学べました。その学んだことを今後に繋げていきたいと思ひますし、この先海外行くことになればこの経験を活かして行きたいと思ひました。そして後期からの授業の中でも活かせるがあれば積極的に活かしていきたいと思ひました。ほんとうに自分にとってプラスな留学で、行ってよかったと思ひました。
5. 自由記述	次に行く時は格闘技で海外に行きたいなとより一層思うようになりました。

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2023 年 9 月 19 日

海外留学成果報告書

【参加者】

所属	経済	学部	経済経営	学科	2	年
プログラム名	夏期英語研修(グループ型)					
受講期間	西暦 2023 年 8 月 12 日 ~ 2023 年 9 月 10 日 (約4週間)					
留学先 (国・地域)	オーストラリア	留学先大学名	ウーロンゴン大学			

1. 留学した理由、目的・目標	私は、将来英語を活用した職業に就きたいと考えています。最近では、国際交流が増えており、外国人労働者の方も増えているので、英語力の向上は必要だと考えました。その際、コミュニケーション能力も必要になってくるので、コミュニケーション能力も向上させていきたいです。国際的な世の中になっている今だからこそ自分の視野を広げもっと柔軟に物事を考えられるように異文化の理解も深めていきたいと思いました。今回の留学では、英語力とコミュニケーション能力の向上と、異文化理解を深めることを目標に活動しました。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	授業では、クラスの人と英語のみでの会話をしたり、ペアワークをしました。放課後には、文化の異なる人たちとの交流をする会と日本が好きな人たちと交流する会がありました。この会に参加したことで現地の学生と友達になれたり英語力、コミュニケーション能力の向上につながられたりすることができました。授業の一環として大学の近くにあるボタニックガーデンや動物園、現地の高校に行きました。たくさんの外国人とコミュニケーションをとることができました。
3. 留学の成果 (目標の達成度、新しく発見したこと、新しく感じたこと など)	私はこの留学を通してたくさんの外国人と会話、コミュニケーションをとったり、友達を作ったりすることで目標であった英語力とコミュニケーション能力の向上、異文化の理解を深めることができました。留学前の自分では、現地の人たちが話している内容を聞くことで精一杯だったり、質問されて答える時も考え込んでしまったりでうまく取ることのできなかつたコミュニケーションも、日々の学校での学びや自分で単語の復習をすることによって少しずつ力がつき、きた時よりもスムーズな会話をするできるようになりました。なかなか話せなかつた自分にも、現地の大学生やホームステイ先の家族はとても優しく接してくれました。おかげで、間違えることにも抵抗が減り積極的にコミュニケーションを取ることができました。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	今回の留学で、語学力とコミュニケーション能力の向上と異文化の理解を深めることを目標にし、留学前の自分と後の自分では大きく変化することができたと思います。この身につけた大きな力をこれからの学校生活や就職活動に生かしていきたいと考えています。例えば、一つの意見にとらわれず、さまざまな考え方や柔軟な対応力を発揮していけたらと思います。語学力はこれからも勉強してTOEICのテストを受けるなどでさらに自分の語学力を向上できたらいいと思います。
5. 自由記述	今回の留学を通して今までの自分にはなかつたものを沢山得ることができました。その事を友達や家族と共有したいです。

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2023 年 9 月 26 日

海外留学成果報告書

【参加者M】

所属	経済	学部	国際文化ビジネス・観光	学科	2	年
プログラム名	夏期英語研修(グループ型)					
受講期間	西暦 2023 年 8 月 12 日 ~ 2023 年 9 月 10 日 (約4週間)					
留学先 (国・地域)	オーストラリア	留学先大学名	ウーロンゴン大学			

1. 留学した理由、目的・目標	今年の春にバーチャル留学でウーロンゴン大学の授業を受けていた。そして、とても楽しい先生に出会うことができた。実際に現地でもその先生の授業を受けることができたり、会うことができたら嬉しいと思い今回の留学を申し込んだ。他には、自分の持っている人柄や英語力を発揮したいといった気持ちがあった。日本では、日常的に英語を使う機会が少なく自分の英語力を確認したかった。目標は、わからないことがあればきちんとホストファミリーや現地の大学の先生に質問をすることだった。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	現地での授業は、アボリジニの文化や歴史について、またyes vote やno voteといった選挙制度について学んだ。アボリジニの方の意見は政府から排除されるといったことを学んだ。他には、オーストラリアの食べ物やアボリジニの方が昔使っていた言葉を学んだ。授業は、8. 30~12. 30までが授業であった。生活面の食事については、朝はトーストしたパンやシリアルであった。お昼は自由で夜は毎日家族と一緒にご飯を食べた。小さな子どもが三人いた。学校が終わってからは子どもたちと遊んでいた。
3. 留学の成果 (・目標の達成度 ・新しく発見したこと ・新しく感じたこと など)	大学の活動で大学の近くにあるボタニックガーデンに行った際に自分からhelloと素敵な老夫婦に声をかけた。するとたくさんの時間を英語で会話をした。また、ホストファミリーとの過ごしている時間や大学での授業中には英語を話した。自分が伝えたいことを表現するのが難しいと感じた時があった。しかし、そこで諦めずにもう一度言い直すことを意識した。そうすることで多くの方の理解を得た。大学での学習面では、一週間目にレベルチェックテストを行なった。二週間目からは、他大学の方と私と先生で授業を受けた。自分のレベルに合ったクラスであり、毎日の授業が楽しくクラスのみinnで英語力を高め合おうといった気持ちを持っていた。わからないことがあれば、みんなで助け合いながら前に進んでいた。私は、常に高い目標を持っていた。そして、ホストファミリーからは「あなたは私の家族の一員だよ」と言われた。とても嬉しく、涙が出た。他には、ウーロンゴン大学の先生には、「あなたの英語力は高いから頑張るね」と言われた。私は、たくさんの外国の方から嬉しい言葉を受け取った。そして、視野が広がり将来は海外でも仕事をしてみたい気持ちがより高まった。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	今回の留学は、とても自分のためになった。もっと長く留学をしたいといった気持ちになった。次は、半年の留学に挑戦してみたいと考えている。身についた英語力を維持したいから、ホストファミリーや大学で出会った先生とのメッセージをしたり電話でのやり取りをしようと考えている。また、素敵なホストファミリーや大学の先生に出会うことができたからこの関係を大切にしていきたい。そして、またオーストラリアに行った際には会いたいと考えている。
5. 自由記述	

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2023 年 9 月 26 日

海外留学成果報告書

【参加者N】

所属	経済	学部	国際文化ビジネス・観光	学科	1	年
プログラム名	夏期英語研修(グループ型)					
受講期間	西暦 2023 年 8 月 12 日 ~ 2023 年 9 月 10 日 (約4週間)					
留学先 (国・地域)	オーストラリア	留学先大学名	ウーロンゴン大学			

1. 留学した理由、目的・目標	わたしは将来海外に住んで英語を日常的に使うような人になりたいと思っています。そのために現地に行きコミュニケーションをとる練習をしたいと考えたからです。英語力はまだまだけど雰囲気やジェスチャーでどれだけ伝わるかも知りたかったということもあります。目標は自分の力で思ったことをゆっくりでもいいから単語でもいいから伝えてコミュニケーションをとることが目標でした。ジェスチャーなども使って一生懸命伝えることができました。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	午前中は授業を受けました。歌を歌ったり、文法の授業を聞いたり、伝言ゲームやオーストラリアのスリッパを投げる遊びをしたり、英語で劇をしたりしました。また4択クイズもしました。午後は外でクリケットやジェンガをしてみんなで遊びました。別の日にはみんな無料で無料のバスに乗りセントラルへ買い物に行きました。また大学である日本人の交流会に参加しコミュニケーションをとりました。それが私にとってはとても楽しい時間でした。友達もたくさんできました。
3. 留学の成果 (目標の達成度、新しく発見したこと、新しく感じたこと など)	私の目標はコミュニケーションをとることでした。日本人の交流会に参加し、たくさんコミュニケーションをとることができたのでとても留学に参加してよかったと思います。日本のことや相手の国のことを教え合い、またオーストラリアでの観光地なども教えてもらいました。新しく発見したことはオーストラリアがとても過ごしやすいということです。公共の場にたくさんゴミ箱があったり公共交通機関の料金に上限があったりすることにびっくりしました。新しく感じたことは英語できなくても一生懸命伝えようとすると同じ熱量で聞こうとしてくれてコミュニケーションがとれるということです。伝えることが難しいこともありましたがなんとかなりました。店員さんとかも簡単な言葉で言い直してくれたりしてくれたのでとても優しい国だなと思いました。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	留学中に何度か思いが通じずに悔しい思いをしたのでその悔しさをモチベーションにして勉強に励みたいと思っています。簡単なコミュニケーションは授業で習ったのでそれも活かしていきたいと思いました。また単語力が自分に無いことが現地で苦戦したので、そこをなんとかしないといけないと思いました。やっぱりオーストラリアはいいところだと再認識し、住みたい気持ちは強くなったのでまだまだ勉強していきたいと思っています。
5. 自由記述	

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2023 年 9 月 20 日

海外留学成果報告書

【参加者〇】

所属	経済	学部	国際文化ビジネス・観光	学科	1	年
プログラム名	夏期英語研修(グループ型)					
受講期間	西暦 2023 年 8 月 12 日 ~ 2023 年 9 月 10 日 (約4週間)					
留学先 (国・地域)	オーストラリア	留学先大学名	ウーロンゴン大学			

1. 留学した理由、目的・目標	私は昔から海外に憧れがあり、そのため英語もとても好きでした。そのためずっと留学したくてやっと大学で機会があったので留学しようと思いました。目標としては特に聞く力をつけたいということと現地の文化を知りたいということが挙げられます。日本にいるとやはりネイティブの人と関わる機会は少なくリスニング力はなかなか付けられないと思ったからです。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	現地についてからの4週間毎日午前中はユニで授業を受けて、午後は現地の人との交流会や私は現地の人と遊びに行ったり会話したりすることがありました。他にも時間がたくさんあるのでオーストラリアの観光地に行ったり、現地で買い物をして店員さんと話したりなども充実していたと思います。
3. 留学の成果 (<ul style="list-style-type: none">・目標の達成度・新しく発見したこと・新しく感じたこと など)	わたしはこの留学で大きく二つの力がついたと思います。一つ目はリスニング力です。オーストラリアについてから学校、家、コンビニ、スーパー、モールなどどこに行っても英語しか聞こえてきません。そのため絶対に英語で会話をしないといけないという状況ができました。そのおかげでわたしは苦手だった英語の聞き取りができるようになったり、わからなかったら簡単にやもう一度お願いしますなど聞き直すことができるようになったりしました。二つ目はコミュニケーション力です。オーストラリアの人たちはとてもフレンドリーな方が多くてシドニーの街を歩いているとおじさんに急に髪色を褒めてもらえたり、お姉さんが急にあなたの服はどこで買ったの?などと話しかけてきてくれたりしました。初めは戸惑いましたが何回かあるうちにそこから会話を広げられるようになりました。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	私は今回の留学で得たものを今後の留学や他の国の人との交流に行かせていけたらなと考えています。わたしは今後もっと期間の長い留学に挑戦したいと思っています。そのためにTOEICやTOEFLなど英語系の資格の取得も考えています。今回リスニング力がわたしの中で1番身についたと思うのでそれを今後の挑戦に活かしていけたらなと考えています。
5. 自由記述	

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

《留学前後における意識調査》

留学前後における意識の変化を比較し、留学の成果を検証することを目的に、出発前・帰国後に下記のアンケートを実施。

1. あなたの英語能力についてお伺いします。(英語コミュニケーション能力)
 - 全体的な英語のコミュニケーション能力に自信がある。 ()
 - 特にリスニングの(聞く)能力に自信がある。 ()
 - 特にスピーキングの(話す)能力に自信がある。 ()
 - 特にライティングの(書く)能力に自信がある。 ()
 - 特にリーディングの(読む)能力に自信がある。 ()

2. あなたが思う自分に対する能力や自信についてお伺いします。(自己効力感)
 - 研修を受ける国や社会に関する知識を持ち、情報の収集ができています。 ()
 - 海外留学プログラムの目的を理解している。 ()
 - グローバルシーンにおいて実践的な英語を使うことができる。 ()
 - ライティング(文書作成、理論的思考)の基本を身につけている。 ()
 - 英語で質疑応答に対応できるノウハウを身につけている。 ()
 - グローバルシーンにおける対人関係(リーダーシップ、チーム形成、問題解決を含む)を構築することができる。 ()
 - グローバルシーンに通用する国際感覚を身につけている。 ()
 - グローバルシーンにおいて交渉力を身につけている。 ()
 - これからの就職活動について自信がある。 ()
 - 与えられた仕事に責任を持つことができる。 ()

3. あなたの異文化に対する態度や意見についてお伺いします。(異文化意識)
 - 自国とは異なる文化に理解をもっている。 ()
 - 自国文化と他の文化の違いを快く受け入れることができる。 ()
 - 文化の異なる人々と、様々な方法でコミュニケーションができる。 ()
 - 自国文化について相手に伝えることができる。 ()
 - 多様な文化や価値観を認識し、多様性を認め合うことができる。 ()

4. あなたの将来のキャリア展望についてお伺いします。(キャリア展望)
 - 自分の適性や能力にあった仕事があるか理解している。 ()
 - 自分が就きたい仕事が決まっている。 ()
 - 自分が将来就きたい仕事のためにどのような能力が必要かを理解している。 ()
 - 国際的な仕事に関心を持っている。 ()

アンケート 回答選択肢

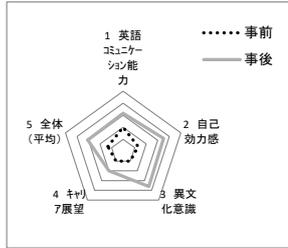
1. 全くあてはまらない
2. あまりあてはまらない
3. どちらでもない
4. だいたいあてはまる
5. よくあてはまる

2023年度 夏期英語研修(グループ型) 参加前後における意識調査アンケート結果

対象者:15名

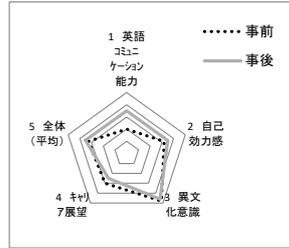
【参加者A】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	2.0	3.2
2 自己効力感	1.3	3.5
3 異文化意識	1.0	3.6
4 キャリア展望	1.0	2.0
5 全体(平均)	1.3	3.1



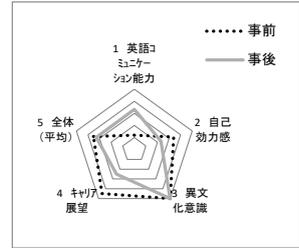
【参加者B】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	2.0	3.5
2 自己効力感	3.2	3.5
3 異文化意識	4.8	4.6
4 キャリア展望	3.0	2.5
5 全体(平均)	3.3	3.5



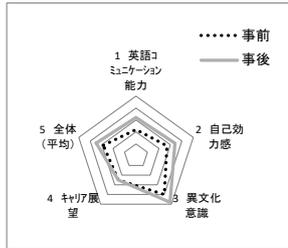
【参加者C】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	1.2	3.3
2 自己効力感	3.4	2.3
3 異文化意識	5.0	5.0
4 キャリア展望	4.5	2.5
5 全体(平均)	3.5	3.3



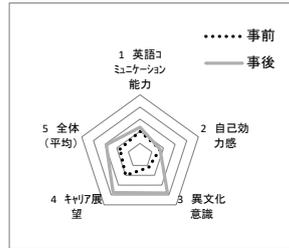
【参加者D】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	2.2	3.2
2 自己効力感	2.7	3.4
3 異文化意識	4.0	4.8
4 キャリア展望	2.5	2.5
5 全体(平均)	2.9	3.5



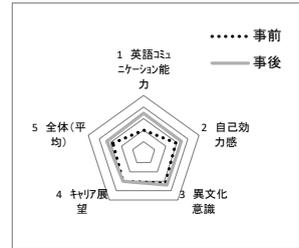
【参加者E】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	2.0	2.3
2 自己効力感	1.7	1.7
3 異文化意識	1.2	3.8
4 キャリア展望	2.0	3.8
5 全体(平均)	1.7	2.9



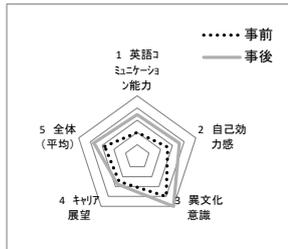
【参加者F】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	2.0	3.5
2 自己効力感	2.9	3.4
3 異文化意識	3.2	3.4
4 キャリア展望	3.0	3.0
5 全体(平均)	2.8	3.3



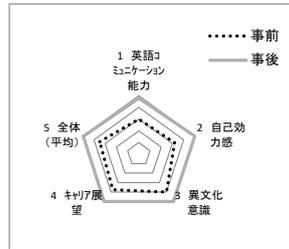
【参加者G】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	2.0	3.5
2 自己効力感	2.6	3.6
3 異文化意識	4.0	5.0
4 キャリア展望	2.5	2.8
5 全体(平均)	2.8	3.7



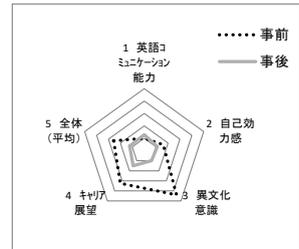
【参加者H】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	3.0	4.8
2 自己効力感	3.2	5.0
3 異文化意識	4.0	5.0
4 キャリア展望	3.8	5.0
5 全体(平均)	3.5	4.9



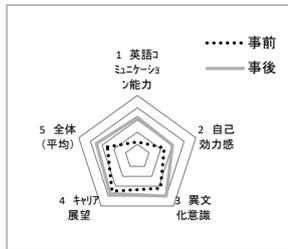
【参加者I】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	1.0	1.3
2 自己効力感	1.6	1.1
3 異文化意識	4.4	1.0
4 キャリア展望	3.3	1.5
5 全体(平均)	2.6	1.2



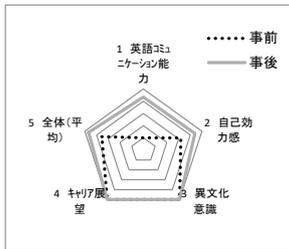
【参加者J】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	1.2	3.2
2 自己効力感	2.3	3.0
3 異文化意識	3.2	4.0
4 キャリア展望	3.5	3.8
5 全体(平均)	2.6	3.5



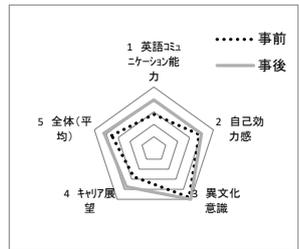
【参加者K】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	1.0	4.3
2 自己効力感	3.2	4.4
3 異文化意識	5.0	5.0
4 キャリア展望	5.0	5.0
5 全体(平均)	3.6	4.7



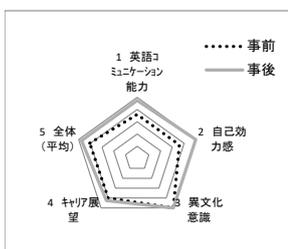
【参加者L】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	2.8	4.0
2 自己効力感	3.8	4.0
3 異文化意識	4.8	5.0
4 キャリア展望	2.8	3.8
5 全体(平均)	3.5	4.2



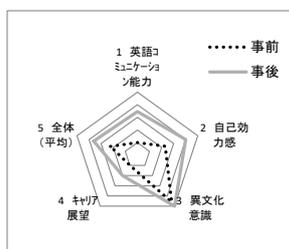
【参加者M】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	3.6	4.8
2 自己効力感	3.6	5.0
3 異文化意識	5.0	5.0
4 キャリア展望	4.0	4.3
5 全体(平均)	4.1	4.8



【参加者N】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	1.0	3.5
2 自己効力感	2.3	4.0
3 異文化意識	4.6	5.0
4 キャリア展望	1.0	2.0
5 全体(平均)	2.2	3.6



【参加者O】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	3.0	3.6
2 自己効力感	2.5	3.4
3 異文化意識	4.8	3.6
4 キャリア展望	4.5	4.0
5 全体(平均)	3.7	3.6

